

DIDスポンサーチームが鈴鹿8耐3連覇!!

二輪業界の一大イベントである真夏の祭典 2017 FIM 世界耐久選手権シリーズ最終戦「鈴鹿8時間耐久ロードレース」第40回記念大会の決勝において、DID スポンサーチームである YAMAHA FACTORY RACING TEAM（ライダー：中須賀 克行/アレックス・ローズ/マイケル・ファン・デル・マーク）が、8時間で216周を走破し、3連覇の偉業を達成しました。



前日の TOP10 TRIAL で、2分6秒 038 のタイムをマークして3年連続ポールポジションを獲得した同チームは、決勝ではスタートでやや出遅れた関係上、序盤は雨がぱらつく難しいコンディションの中、マシン同士が接近する白熱したトップ争いを繰り広げましたが、ライバルの転倒などもあり、次第にその差を広げてトップを独走、最終的には3位以下を周回遅れにする圧倒的な強さを見せつけ、40回の節目となる記念大会を歴史的勝利で飾りました。

今年もレース前から注目されていた YAMAHA FACTORY RACING TEAM ですが、終わってみれば予選、決勝ともに「強いヤマハ」というイメージ通りの戦いぶりを見せました。

同チームのマシンには、弊社製品であるレース専用 DID ドライブチェーンが装着されており、世界一過酷と評される真夏の8時間スプリント耐久レースにおいて、マシンのポテンシャルを最大限に引き出し優勝に貢献。DID チェーンの性能・品質の高さを実証すると同時に、同チームのマシンの両サイドに付された「D.I.D」のロゴマークを通じて、当社の存在感を示すことができました。

今後とも、世界の名だたるレースにおけるサポートを通じて、「D.I.D」ブランドの更なる確立と普及に努めると共に、グループ全体の企業価値の向上に資する取り組みを推進してまいります。